

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	神戸市立のぼら学園		
○保護者評価実施期間	2025年10月7日 ~ 2025年10月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 49	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2025年10月15日 ~ 2025年11月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 24	(回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の中核的役割を担う機関として、地域の中で障害児に提供する支援の質を高めようとしていること。	地域の事業所等を対象に、公開療育で環境設定や視覚支援の方法を知ってもらったり、安全、安心な療育の提供ができるよう研修会を開催したりしている。	さらなる障害児の支援体制強化を図るため、関係機関へのアプローチを行う。
2	神戸市西部療育センター内にあるため、併設の診療所の多職種専門職との連携を図りながら、個々のこどもの状態に応じたきめ細やかな療育支援を行っていること。	療法士等がこどもの状況に応じて療育場面に参加し、保育士等に必要な助言をしている。	引き続き、多職種専門職との連携を図り、より良い療育の提供を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	神戸市立のぼら学園
------	-----------

公表日 2026年 3月 18日

利用児童数 49

回収数 39

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	0	0	0	遊具や室内も広くてのびのびしている 広いし、充実している	引き続き、適切なスペースを確保するとともに、使い方の工夫を行い、安全確保を徹底する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1	0	1	よく見てもらっている 多い分にはありがたい たくさんの先生がいるので安心 もう少しいてもいいと思う	引き続き、適切な職員配置に努める。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	1	0	0	写真で掲示してあり分かりやすい 各部屋にマークがあり覚えやすい	引き続き、適切な環境整備に努めるとともに、より使いやすい施設となるような工夫を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	2	0	0	のびのびと過ごしている ガムテープが剥がれているものがそのままになっているのが気になる いつも綺麗で、消毒もしっかりしている	清潔で心地よく過ごせる環境となるよう努める。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	1	0	0	親以上に子どものことをよく見て適切な支援がされている 一人一人の子どもたちに合わせて対応してくれている	引き続き、一人ひとりの子どもの特性等に応じた適切な支援に努める。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	0	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	0	0	0	詳しく相談にのってもらえてありがたい 親の意見と子どもの成長に合わせて考えてくれている	引き続き、適切なアセスメントに基づいた支援計画の作成に努める。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38	1	0	0	丁寧に教えてもらえるで、親も想像しやすく安心している 覚えられないので、1人1目標で十分だと思う	引き続き、児童発達支援ガイドラインで示す支援内容から、一人ひとりの子どもの特性に応じた支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努める。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39	0	0	0	本人の負担なく過ごせている よく見て考えてもらっていることに感謝している	引き続き、保護者と職員間で情報共有を行いながら、支援計画に沿った適切な支援を行う。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	3	0	0	工夫されていると思う 難しいのかもしれないが、年に一度でよいので園外活動をしてほしい	引き続き、子どもの状況に応じた活動プログラムを工夫していく。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	28	2	2	7	交流の場があったときに教えてもらえる 交流することによって、あそびの幅が広がっている もしかすると今後あるのかもしれないと思っている	引き続き、保育所等地域の子どもたちとの交流に努め、行事予定表や連絡帳で伝えるようにしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	2	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39	0	0	0	個別で教えてもらっている 丁寧に分かりやすくしてもらっている	引き続き、支援計画の内容について、利用者への丁寧に分かりやすい説明に努める。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	2	0	1	勉強会も少しあってもいいかなと思う 「親子であそぼう」の機会を作ってもらえて楽しい	引き続き、家族支援の充実を努める。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	39	0	0	0	毎日連絡帳で子どもたちの様子が分かる	引き続き、子どもの発達状況等、保護者との共通理解が徹底できるように努める。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	0	0	0	電話や連絡帳、行事などで、子どもの様子や親のことを考えて話してくれる	引き続き、保護者からの相談等に対して、適切な対応と必要な助言の実施に努める。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33	4	0	2	きょうだいは今のところ運動会の応援だけである 未就学のきょうだいも年に数回一緒に通園できればよいと思う カーニバル等交流の場も多いと思う 家族もカーニバルを楽しみにしていて園が楽しく安心できる場所なのだと思うと嬉しい 保護者同士の交流がもっとあれば嬉しい 遠足を復活させてほしい	引き続き、きょうだいを含めた家族への支援を検討していく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	0	1	1	とても分かりやすく、子どもたちのために考え動いてくれている	引き続き、利用者からの相談等に対し、迅速かつ適切な対応に努める。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	1	0	0	とても気にかけて、声もかけてもらい助かっている	引き続き、子どもの障害特性に応じた適切な支援に努める。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	2	1	0	「すぐる」などアプリの連絡だと便利 毎月子どもたちのあそびなどを教えてくれたり、写真をおたよりに入れてもらったりしてありがたい ホームページで学園の素敵なところを発信できないかなと感じる 子どもたちの過ごし方や様子などがたくさんの人に伝わるといいなと感じる	引き続き、活動概要や行事予定等について情報発信を行っていく。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	0	0	0			
非 常 時 態 勢	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	0	0	1		

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	0	0	2	先生方が多いので安心している	引き続き、職員間での十分な情報共有のもと、安全を確保した上で支援を行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	0	0	1	まだ経験がないので分からない 電話で伝えてもらっている小さなことでも教えてもらえるので安心	引き続き、事故等が発生した際には、こどもへの対応及び保護者への説明を迅速に行う。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	39	0	0	0	「のばら楽しい」と言っている 毎日楽しく笑顔いっぱい	引き続き、一人ひとりのこどもの特性に応じた支援を行い、こどもが安心感をもって通所できるように努める。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	2	0	0	こどもが成長し、いろいろ理解したがゆえに、行きたくないと思わせることがあり、その時の対応に迷っている 楽しみだと伝えてくれるくらい、毎日元気に登園している 行くことが楽しみで準備も自分で率先してやっている 休みの日も園用のリュックを持って出発しようとするくらい楽しみにしている	引き続き、支援内容を工夫し、こどもが楽しく通所できるように努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	0	0	1	先生の接し方も勉強になり、満足している 関わりのある全ての先生が細かな情報まで共有されているので、とても安心	引き続き、支援について内容の検証、改善に努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	神戸市立のぼら学園		公表日		2026年 3月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		必要なスペースを確保している。	引き続き、適切なスペースを確保するとともに、使い方の工夫を行い、クラスやこどもの状況に合わせた空間を作れるようにする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切な職員配置を行っている。	引き続き、利用人数だけでなく、クラスやこどもの状況を見ながら、適切な職員配置に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー構造であり、視覚支援など障害の特性に応じた環境整備を行っている	引き続き、環境整備に努めるとともに、より使いやすい施設となるよう生活空間を整え、こどもの状況により対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、清掃を行い、こどもが活動しやすい生活空間を確保している。	引き続き、日々の清掃および整理整頓に努めるとともに、業者による定期清掃を行うなどしながら、こどもが活動しやすい空間となるような工夫を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		空き部屋を有効利用して使用できるようにしている。	引き続き、適切なスペースを確保するとともに、使い方の工夫を行い、こどもの状況に合わせた空間を作れるようにする。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		会議などを通して、PDCAサイクルを行っている。	引き続き、業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、職員が幅広い視点をもって参画できるようにする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		集約した保護者向け評価表を、職員間で共有し、対応可能な内容については改善に努めている。	引き続き、評価アンケート等での意見をもとに業務改善につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議や朝終礼、面談等での意見について、対応可能な内容については検討し業務改善につなげている。	引き続き、職員が意見を述べやすいような機会を設け、必要に応じて業務改善につなげていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は取り入れていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		施設内研修や外部施設への実習を実施するとともに、他団体が主催する研修を受講する機会を設けている。	引き続き、職員の資質向上を図るため、研修内容等を工夫する。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表し、学園の要覧の二次元コードから読み取れるようにしている。	見学会等で、支援プログラムを公表していることを伝えていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		こどもと保護者のニーズ等を把握するために、アセスメントシートなどで十分なアセスメントを実施し、支援計画を作成している。	引き続き、適切なアセスメントに基づいた支援計画の作成に努める。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議を行い、検討、作成している。	引き続き、児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員と検討、作成を行う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画を確認できる状況にしている。	引き続き、児童発達支援計画を確認できる状況にしておき、必要に応じて口頭で伝えるようにする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援等の記録や日々の記録等を基にこどもの状況を確認している。	引き続き、様々な方法でこどもの状況を確認していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		一人ひとりのこどもの特性に応じた支援項目を設定し、具体的な支援内容を記載した計画を作成している。	引き続き、児童発達支援ガイドラインで示す支援内容から、一人ひとりのこどもの特性に応じた支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努める。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各職員が連携・情報共有して、こどもの特性や発達段階等に応じた活動プログラムを立案している。	引き続き、各職員が連携して、チーム全体での活動プログラムの立案に努める。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		研修等で紹介された事例などを参考にしながら、随時、新たな活動プログラムを取り入れられている。	引き続き、こどもの状況に応じて、新たな活動プログラムを取り入れていく。

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人ひとりのこどもの特性に応じて、必要な個別活動および集団活動を取り入れた計画を作成している。	引き続き、一人ひとりのこどもの特性に応じた適切な支援計画の作成に努める。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼やミーティングを通じて、日々の支援内容や職員の役割分担、個々のこどもに対する配慮事項等についての確認を行っている。	引き続き、職員間での十分な情報共有を行い、必要事項の確認を徹底する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼やミーティングを通じて、日々の支援内容の振り返りや個々のこどもの状況等について、必要な情報共有を行っている。	引き続き、職員間での十分な情報共有を行い、必要事項の確認を徹底する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容について適切に記録を作成し、随時、支援内容を検証するとともに、必要に応じて改善を行っている。	引き続き、日々の支援内容についての適切な記録、支援内容の検証、改善に努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、こどもの状態を適切に把握したうえで、必要に応じて支援計画の内容を見直している。	引き続き、適切な時期にモニタリングを実施し、こどもの状況に応じて支援計画の見直しを行う。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて関係職員が担当者会議などに参加している。	引き続き、関係機関との情報共有に努める。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との連携を図り、支援を行う体制を整えている。	引き続き、関係機関との連携に努める。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて併行利用や移行に向けた支援を行い、保護者の同意を得たうえで、関係機関と、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	引き続き、併行利用や移行に向けた支援を行い、関係機関との情報共有と相互理解を図っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の同意を得たうえで、小学校や特別支援学校と、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	引き続き、小学校や特別支援学校との情報共有と相互理解を図っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		公開療育や、地域の障害児通所支援事業所等への見学、研修等を行うことで、地域全体の質の向上を図っている。	引き続き、障害児通所支援事業所等との連携に努める。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		施設内研修や外部研修を受講する機会を設けている。	引き続き、研修内容等を工夫しながら、職員の資質向上のための取り組みを行う。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域自立支援協議会や子育て支援ネットワーク会議に参加している。	引き続き、地域自立支援協議会や子育て支援ネットワーク会議に参加する。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		近隣の認定こども園や障害児通所支援事業所との交流を行っている。また、就学児など個別に幼稚園交流を行っているこどももいる。	引き続き、地域の認定こども園等との交流で、地域の他のこどもと活動する機会を設ける。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的に個別懇談を実施するほか、連絡帳の活用等により、子どもの日々の状況や課題について、保護者との共有に努めている。	引き続き、こどもの発達状態や課題について、保護者との共通理解が徹底できるように努める。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者を対象とした研修や個別懇談を実施するほか、親子通園では日々の療育を通じて支援を行っている。	引き続き、保護者の対応力の向上を図るための支援の充実に努めるとともに、支援が伝わりやすい工夫を行っていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入園説明会等で、説明を行っている。	引き続き、入園説明会等で、丁寧な説明を行っていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		懇談の機会を設け、アセスメントシートや振り返りシート等を基に、こどもや家族の意向を確認し、支援計画を作成している。	引き続き、支援計画を作成する際には、こどもや家族の意向を確認する機会を設ける。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画の趣旨や支援内容について、保護者が十分理解できるように説明を行い同意を得ている。	引き続き、支援計画の内容について、利用者への丁寧で分かりやすい説明に努める。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に個別懇談を実施するほか、連絡帳の活用等により、必要な助言と支援を行っている。	引き続き、保護者からの相談に対して、適切な対応と必要な助言に努める。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		クラス単位で保護者会を実施している。また、保護者勉強会等のあとに部屋を開放して交流できるようにしている。きょうだい支援について、クラスごとにカーニバル、肢体不自由児クラスは兄弟デイも実施している。	引き続き、保護者同士やきょうだいが交流できる機会を設ける。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		重要事項説明の際など、苦情受付窓口について保護者に説明するとともに、相談や申入れがあった場合は迅速に対応している。	引き続き、保護者からの相談や申入れについて、迅速かつ適切に対応する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		日々、連絡帳を活用するとともに、毎月、行事予定をお知らせしている。	引き続き、活動概要や連絡体制等について子どもや保護者に情報発信を行っていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員に対して、個人情報の取扱いに関する研修を実施し、日々の業務における適切な取扱いを徹底している。	引き続き、個人情報の取扱いに十分留意するとともに、重要事項説明の際など、個人情報の取扱いについて説明する。
	43	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援など障害の特性に応じた意思疎通を行っている。	引き続き、適切な方法での意思疎通や情報伝達の配慮に努める。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域のボランティアを受け入れ、子どもの支援補助として関わっていただいている。	引き続き、地域と連携し、開かれた事業運営ができるように努める。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、重要事項説明書や入園のしおり等で職員や家族等に周知し、発生を想定した訓練を実施している。	緊急時等の対応については、随時見直しを行い、適切な対応についての周知徹底を図る。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を作成し、定期的に避難訓練等を実施している。	引き続き、定期的に必要な訓練を実施し、目的・内容について保護者に周知するとともに、災害発生に備えた取り組みを行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		入園前の提出資料や看護師による入園後の保護者からの聞き取り等により、子どもの健康面について確認、周知している。	引き続き、連絡帳などでも健康面の確認を行っていく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある子どもに対しては、保護者からの聞き取りと医師の指示に基づいて、適切な対応を行っている。	引き続き、子どものアレルギー状況についての十分な把握と、医師の指示に基づいた適切な対応に努める。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練等を行い、十分な安全管理の中で支援を行っている。	引き続き、研修や訓練等を行い、安全管理が十分された中で支援に努める。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		連絡帳を活用し、取組内容を家族等へ周知している。	引き続き、子どもの安全確保に関しての取組内容について、連絡帳等で周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が発生した場合は報告書を作成し事業所内で共有を徹底し、再発防止に努めている。	引き続き、ヒヤリハット事例の共有を徹底し、事故の発生防止に努める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員に対し虐待防止研修を実施している。虐待防止委員会を開催し、情報共有を図っている。	引き続き、全職員に対して虐待防止研修を実施し、意識向上を図る。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず行う場合は組織的な決定に基づくものとし、保護者に事前に十分説明し了解を得た上で支援計画に記載し同意を得ている。	引き続き、適切な取り扱いを行う。	